

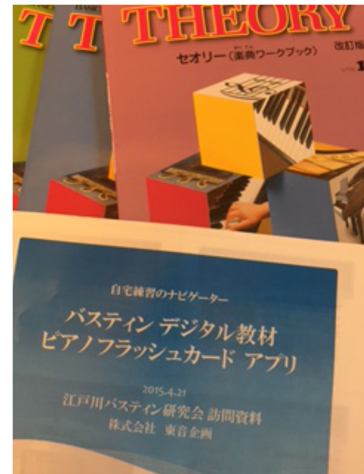
《江戸川バスティン研究会 4月21日の月例会》

4月21日に行われました、江戸川バスティン研究会の月例会に、東音企画の方にお越し頂きました。

前半は、ここ数年で改訂されている、新刊のセオリー1～3巻のご説明をいただきました。レッスンで使用するにより、研究会として多数の疑問点が出ていたため、何度となく会員で改訂版についてのディスカッションを行っておりました。そこで、せっかくの機会ですので、疑問点を率直に投げかけてみました。

以下が今回、主に御教授頂いた点です。

- ◎復習ドリルの使い方として、各項目ごとに楽譜の右上にまとめへのアプローチされている。
- ◎コードネームと、音名の♭の記載には違いがある。
- ◎重版されるごとに楽譜に重版日が記載されていて、日々進化しているセオリーである。
- ◎検定教科書に基づいた表現なので、補足しなからレッスンで活用して欲しい。



改定版は、以前より使いづらいとの意見がありましたが、改定の意図、熱い想いを伺い、改訂版への興味が湧き、メンバー一同、納得の説明を受けることができました。ありがとうございました。

* * * *

さて本題の後半では、バスティンフラッシュカードアプリについてのご説明を、頂きました。会員の中には、既に試している方、初めての方、この日のためにiPadをご用意された方など、様々でしたが、まずは、指導者が体験し楽しむことから入りました！

アプリをダウンロードするところから、細やかにご説明を頂きました。

「音名あて、ピアノで音あて、鍵盤あて」の3種類の体験と、「ドレミ観覧車」というゲームを体験致しました。ログインすることにより、世界中のユーザーとスコアを競うこともできるそうです。

今後このアプリは、益々進化する予定で、また「調号あて」「音程あて」などが体験できるアプリも開発中だそうです。新バージョンが待ち遠しいものですね。

アプリを利用することにより、従来の紙とはまた異なる、新しいアプローチによる指導の時代の到来を実感する、貴重な体験となりました。

私達メンバーにとって、充実した2時間を過ごすことができました。それぞれが体験したことを教室に持ち帰り、日々のレッスンに活用致したいと思います。



Rep 江戸川バズテイン研究会 板崎 早苗